

令和3年度 第3回北杜市環境審議会（書面開催） 意見回答

議事（1）一般廃棄物処理基本計画の策定状況について（報告）

No.	頁	委員意見	事務局回答
1	4	[質問]令和6年に全市ふるさと公苑にて処理することとなっておりますが、その時処理量は現状よりどの程度増加となりますか。上記の場合、地元との関係は現在どのようになっていますか。	処理量については、2400～2500k l くらい増加する見込みで、全体の処理量は5000～6000k l となる見込みです。この処理量は、施設の処理能力の半分以下のため、十分処理できる量となります。 また、地元に対しては、令和元年及び2年度の地権者会で説明済みです。 補償の見直しを行うことを条件に了承を得ております。
2	17	[意見]別荘ごみが急増しています。別荘数の増加が原因か、原単位（別荘1件当たり）増加かの推測把握も望まれます。ちなみに、永住者でも地域ゴミステーションに出さず、支所での回収者もいます。	別荘ごみを市で収集していることが口コミで広まり、今までごみを持ち帰りしていた人が、別荘ごみの収集を利用することが増えたことが原因であると考えられます。
	17	[意見]小売店等の資源回収は顕著に増加しています。この実績の良否が判断できません。もし、良好な再資源化活動であれば、小売店業者さん活動へのインセンティブの設定も考えられます。	今後の施策の参考にさせていただきます。
3	20	[意見]表3-9 処理方法 ごみ熱分解・熱焼溶融について、キルン式ガス化溶融炉型をいっているのですが、「炉」を入れた方が良いのでは。	この部分については方式をうたっているため、検討の結果、「炉」は入れないこととしました。
4	22	[意見]表3-13 資料：一般廃棄物処理実態調査（令和2年度は速報値）について、これは、もう速報値ではないのでは？	ご意見ありがとうございます。コンサルと相談し、対応します。

5	27	[質問]アンケート調査結果について、円グラフのパーセンテージ前回の会議資料と少しずつ違いますが、新たなアンケートを取ったのですか。	廃棄物減量等推進審議会に対応します。
6	38	表5-2 この見込み数も見直しがされていますね。	廃棄物減量等推進審議会に対応します。
7	40	<p>[意見]第7章 第1節 第1項の表について、具体的な取り組み例に以下の文言を入れることを希望します。</p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/>シカル消費 人・社会・地球環境に配慮した消費行動。 大切に長く使い続ける。そして、使っている物が将来ごみになるのか、リサイクルできるのか、フリーマーケットの活用。未来のことまで含めて考える視点を伝える。エシカル消費の教育も必要です。</p> <p>2・グリーン購入 製品やサービスを購入する時に、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ない物を購入する。</p>	4 Rの中に含まれると考えます。計画に盛り込めるようコンサルと相談し、対応します。
8	47	<p>[意見]第8章 第1節 第2項 食品廃棄物削減の意義について、食品廃棄物削減は、SDG sにも具体的な目標として記載されているため、この具体的内容を記載したほうが理解し易いのでは。SDG sも17項目、169のターゲットがあります。</p> <p>*注として下段に載せませんか。次ページの第4項にもSDG sと記載しているので、</p> <p>12番 項目 つくる責任 つかう責任 ターゲット 12・3 以上を載せたら如何でしょうか。</p> <p>ターゲット 12・3は次のように記載されています。<input checked="" type="checkbox"/> 2030年までに小売り・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、収穫後、損失などの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を減少させる。</p>	第8章は、令和元年度に作成した「食品ロス削減推進運用指針」の内容を掲載しています。SDG sの具体的な記載については、他とのバランスを取りながら対応いたします。

9	62	<p>[意見]第2節 事業者の協力について、事業系可燃ごみ〜〜また、食品廃棄物については、排出抑制に努め、資源化に向けて、先進事例や取り組み等を調査し、〜とあります。</p> <p>私もそのように考えます。これまでは、資源を取って・作って・使って・捨てる、リニアエコノミーとって、直線、一方通行の型でしたが、やはりこれからは、資源化し循環経済：サーキュラーエコノミーにすることが必要ではないかと思ひます。</p> <p>落ち葉・生ごみ・廃食油・茶がらなどと炭素・微生物・窒素これらで、肥料が作れるのでは？事業者がいればですが。先進地はあります。</p>	<p>市農業振興課が対応を考へているようです。</p>
10		<p>[意見]ごみ処理は入り口が決めれば途中においていろいろ工夫しても出口のごみをださない量は中々減らせないことがわかった。ごみを出さない施策をかんがえなくてはならない。例えば生ごみをごみとして排出しないように家庭で堆肥化するように堆肥化コンポストを設置させる。団地などでは堆肥化機械装置（生ごみ処理機）を設置義務化する。そのための費用補助金を厚くするなど。</p>	<p>市では、生ごみ処理機（容器）購入補助金を交付しております。今までは1度限りの申請条件でしたが、コンポスト、生ごみ処理機の故障等による再申請を可能にしました（条件付き）。</p>
11	32~33	<p>[意見]（1）前計画目標値の達成状況に関して</p> <p>ごみ排出量及び再生化率は、目標計画に対して令和2年実績で明らかに未達の実績です。P33では今後の課題を記述していますが、その前に未達分析による原因特定と記述が望まれます。原因分析からの有効性のある今後の対策と目標を設定していく流れが妥当と考へます。</p>	<p>再生化率の未達の原因として、再生化率を重量比率で計算していることが考へられます。重さのある紙類が減ると、再生化率もそれに伴い減少します。実際、紙類の排出量は著しく減少しており、ペーパーレス化やリフューズが進んでいるものと考えられます。</p>